

平成25年度 蕨市立病院経営方針

この経営方針は、病院経営改革の着実な推進を図るため策定した「蕨市立病院改革プラン」の行動計画を病院職員一人ひとりが自覚し、組織一丸となって実行できるよう定めたものである。



蕨市シンボルマーク

当病院の存在意義

当病院は、常に安定経営の上において、地域に密着しながら市民の健康増進に貢献することを使命とし、市民の意向や要望を反映した質の高い医療サービスの充実に努め、市民から信頼され、安心して医療を受けられる、市民のための自治体病院として、引き続き、存続することを基本とする。

平成25年5月

蕨市立病院

平成25年度経営目標

基本目標

平成25年度は、平成21年度に策定した5カ年計画の市立病院経営改革プラン最終年度となる。平成21・22年度は良好な経営状態まで回復しており、平成23年度は、東日本大震災の影響などにより損失を計上したものの、平成24年度においてはP3のとおり、利益を計上できる見通しとなっている。

今年度は、職員一人ひとりがプラン最終年度を意識し、着実に行動計画の実施に努めるとともに、次期プランを策定し経営改革を継続していくためには、職員だれもが働きやすい良好な職場環境づくりへの取り組みが重要となってくる。

市内唯一の救急病院としての救急医療体制を確保し、医療の中心は患者であるという認識のもと、市民のための自治体病院として安全な医療と質の高いサービスの提供に努める。

これにより、二次医療機能を高めて収益増を図るとともに、費用の適正化など収支の改善に取り組み、経営を安定化させ、さらに、医療環境の変化に対応できるよう経営基盤の確立を目指す。

目標値

【平成25年度診療科別目標患者数及び目標収益】

◇入院患者数目標値 34,675人 ◇外来患者数目標値 135,534人

診療科	病棟	目標患者数・収益単価		目標年間収益	病床利用率		
		1日当り	1件当り単価				
入院	内科	5	40人	27,200円	447,000千円	76.9%	
	内科	5人					
	外科	3	20人	30,000円	219,000千円	71.7%	
	整形外科		3人	28,900円			
	小児科		5人	67,000円	122,000千円		
	眼科		5人	61,600円	112,000千円		
	産婦人科(婦人科)		2	17人	382,000千円		68.0%
	産婦人科(産科)						
計		95人		1,314,000千円	73.1%		

(開院365日)

診療科	目標患者数・収益単価		目標年間収益	
	1日当り	1件当り単価		
外来	内科	135人	12,700円	504,000千円
	外科	50人	8,800円	129,000千円
	整形外科	50人	7,800円	115,000千円
	小児科	60人	6,400円	113,000千円
	眼科	30人	8,700円	77,000千円
	産婦人科	90人	7,700円	204,000千円
	耳鼻咽喉科	26人	6,500円	49,000千円
	人工透析科	20人	33,600円	197,000千円
計	461人		1,388,000千円	

(開院294日)

目標管理の徹底

目標を管理することは経営の基本であり、経営安定化を確実なものとするためには、目標管理による経営改善を積み上げていくことが重要である。月例の管理会議等において着実な進行管理を実践し、病院改革を確実なものとしていく。

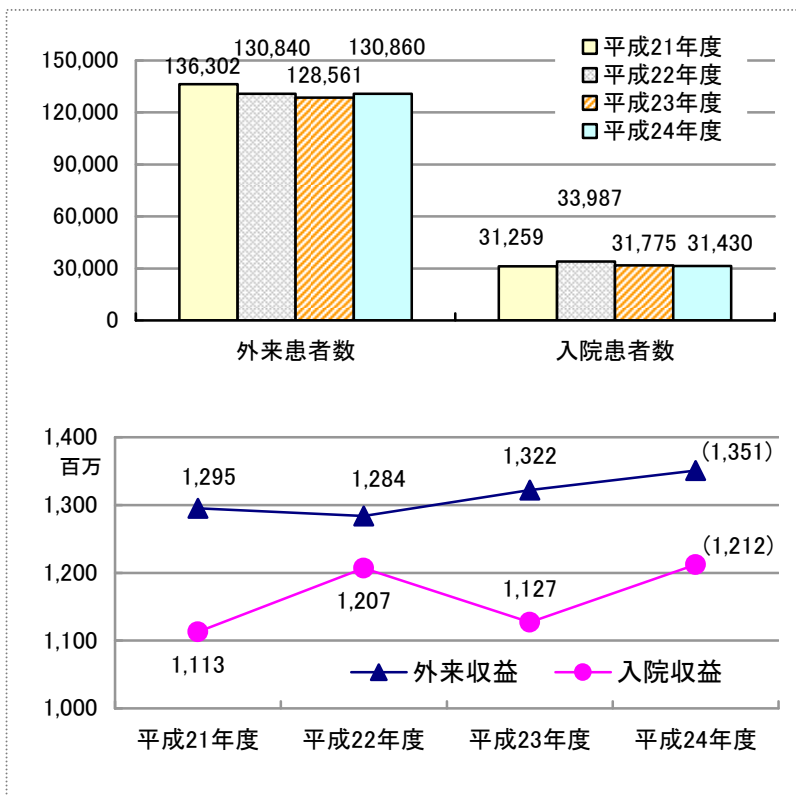
重点推進項目

1. 良好な職場環境達成への取り組み
 - ・誰もが働きやすい職場環境づくりのため、各部署での自主的かつ積極的な改善
2. 病床利用率の向上
 - ・救急患者の積極的な受入れ
 - ・地域医療機関からの紹介による新入院患者の確保
3. 地域医療連携の推進
 - ・地域医療連携による病病・病診の更なる連携強化と機能分担
4. 職員の接遇レベルの向上
 - ・接遇レベルの更なる向上のため、外部講師を招いた職員の接遇教育の実施
5. 施設基準算定要件の励行
 - ・施設基準に定める算定要件の周知及び励行の徹底
6. 消費税問題を踏まえた外来処方の在り方の検討
 - ・病棟業務へのシフトによる収益・費用等の比較
7. 常勤医師の確保
 - ・内科(消化器系)医師、小児科医師及び整形外科医師の採用

《平成24年度決算見込み》

【患者動向】

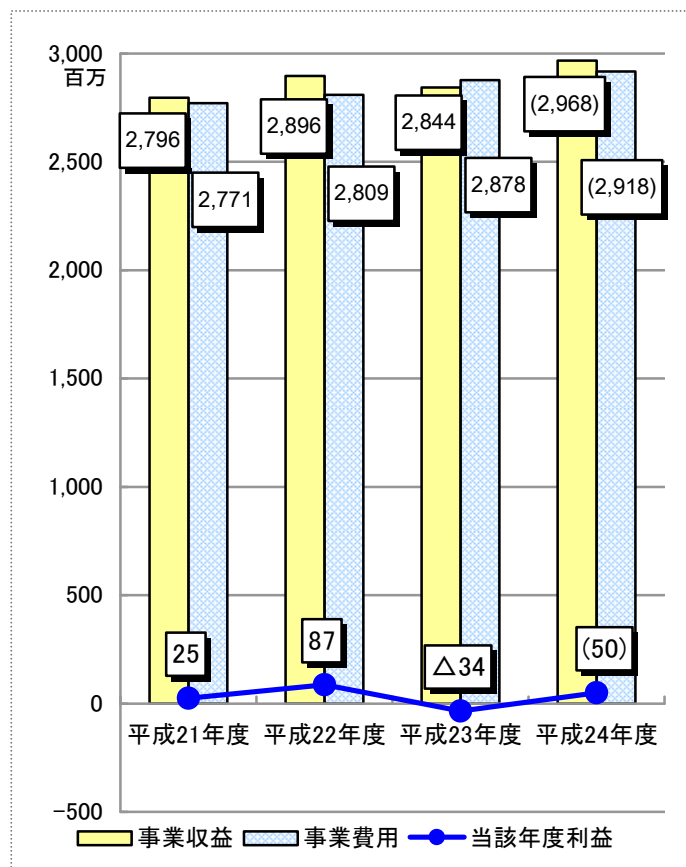
入院患者数は31,430人で前年度比△345人、1.1%減となり、外来患者数は130,860人で前年度比2,299人、1.8%（10.8人/日）増となりました。



【収益見込み】

入院患者数は減少したものの、診療単価の増額で収益は約7%の増となる見込みで、外来収益は患者数の増加に伴い約2%の増収が見込まれます。

医業収益全体では約4%の増収が見込まれます。なお、医業費用は材料費の増などの影響から、約1%増加の見込みです。



【収支見込み】

平成23年度33,572,500円の損失を計上してしまいましたが、平成24年度は、事業収益が入院診療単価の増額や外来患者数の増加により、対前年度で約124,000千円の増となり、事業全体の収支では約50,000千円の利益が計上できる見込みです。

なお、本業の医業収支でも利益を確保できる状況です。

※グラフの()内の平成24年度値は見込値

蕨市立病院の理念とビジョン

基本理念

次の基本理念に基づき、市立病院としての経営を推進する。

(地域・市民の視点)

市民の健康を守り、地域に根差した市民に愛される病院となります。

(患者の視点)

患者や家族の満足を第一に考え、安全な医療と質の高いサービスを提供し、安心して医療を受けられる病院となります。

基本方針

基本理念を実現するため、経営改革プランで策定した「行動指針・将来ビジョン」を遵守して、全職員が市立病院の運営に参画し、自治体病院としての地域医療への役割を果たすとともに、安定した病院経営の構築を目指す。

(方針のポイント)

- ☆ 近隣医療機関等との連携強化
- ☆ 患者満足度の向上
- ☆ 患者・家族の個人情報の保護の徹底
- ☆ 接遇レベルの向上と自己研鑽
- ☆ 全職員の緊密な連携
- ☆ 効率的でムダのない業務の遂行

行動指針

当病院の基本理念を実現するため、次の行動指針に基づき、職員が一丸となって、実行していくことを約束します。

- 私たちは、地域における安心・安全な医療提供を実現するために、近隣の医療機関等と十分な連携を図りながら病院運営を行います。
- 私たちは、患者や家族に満足していただけるよう、インフォームド・コンセント（説明と同意）に取り組み、すべての行動が患者の満足につながるよう努めます。
- 私たちは、患者や家族のプライバシーを守ります。
- 私たちは、安定的で質の高い医療サービスを提供するために、自発的な向上心に基づき、時間を惜しまず自己研鑽に励みます。
- 私たちは、最適な医療活動を実践していくために、全職員が緊密な連携をとりながら職務を遂行します。
- 私たちは、効率的な運営を行うために、院内の業務上のすべてのムダをなくすよう努めます

将来ビジョン(目指す方向)

1. 当病院は、救急医療を含めた二次医療機能を主軸としながら、質の高い医療サービスを提供します。
2. 当病院は、自治体病院としての特質を活かした運営形態を維持します。
3. 当病院は、地域と連携しながら、診療科目の編成を行い、医療の提供に取り組みます。
4. 当病院は、適切な病床規模を確保し、地域の医療需要に対応します。
5. 当病院は、職員教育に力を注ぎ、職員全体が同一方向を向いて、患者満足度の向上に努めます。
6. 当病院は、マネジメント体制を強化し、職員一人ひとりが自分の役割を果たしながら、経営改革に取り組みます。
7. 当病院は、経営の健全化・効率化を図りながら、安定した経営の実現を目指します。
8. 当病院は、継続的な地域医療を提供するため、建物・設備の充実に取り組みます。